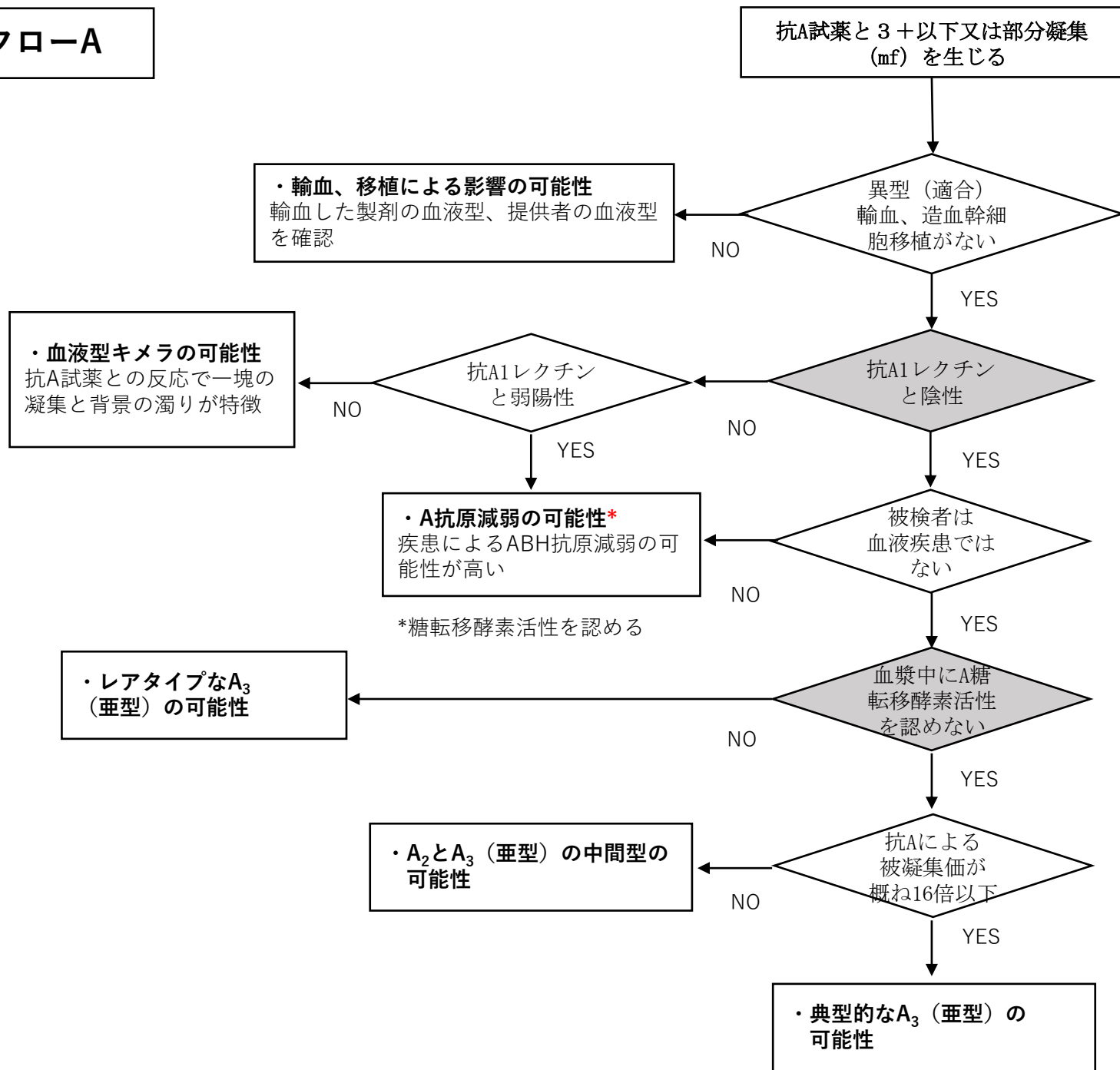


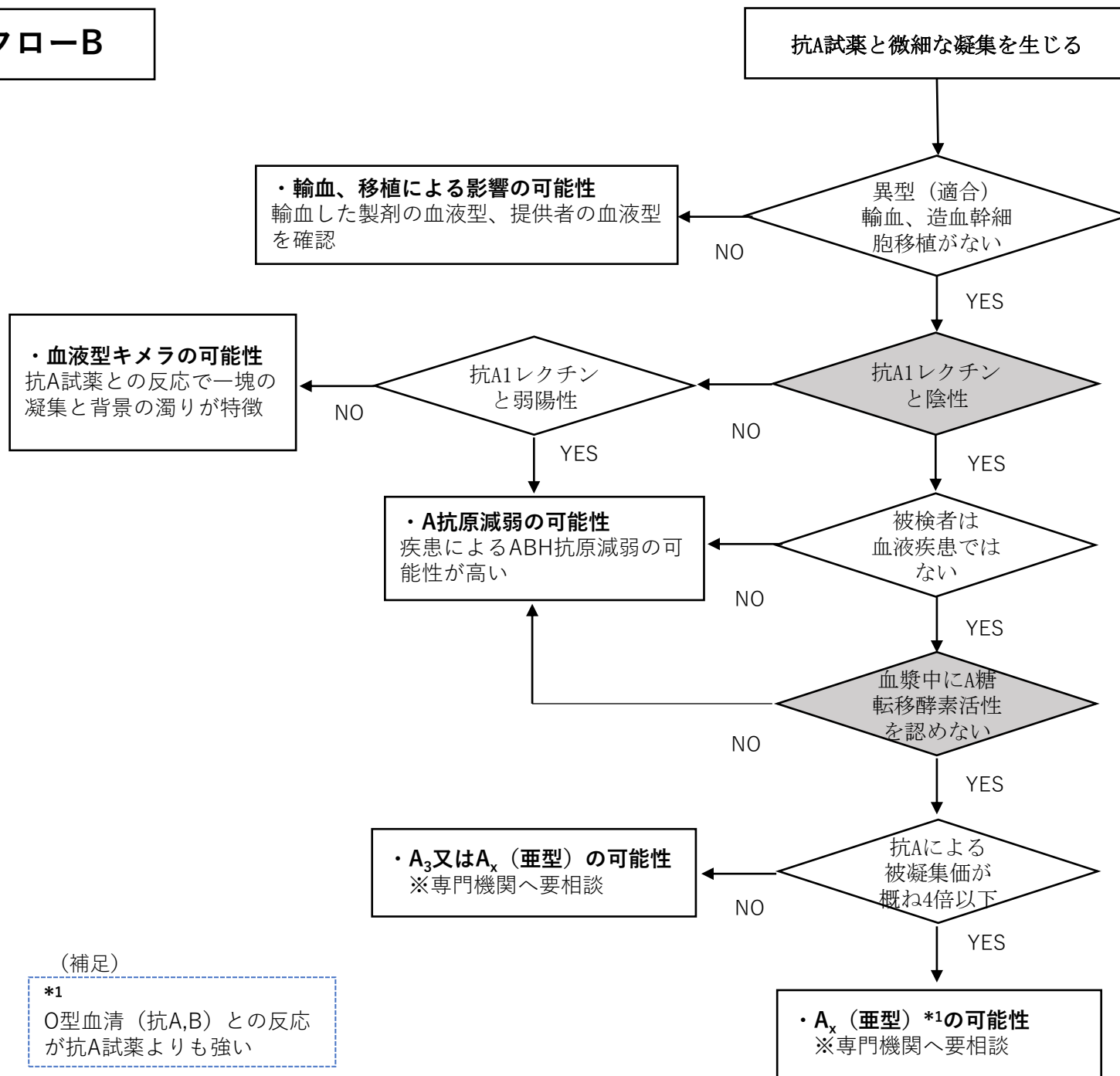
輸血のための検査マニュアル Ver1.4

(別紙) ABO亜型 鑑別フローチャート (案)

# 検査フローA



# 検査フローB



(補足)

\*1

O型血清 (抗A,B) との反応が抗A試薬よりも強い

抗A試薬と微細な凝集を生じる

異型 (適合)  
輸血、造血幹細胞移植がない

・輸血、移植による影響の可能性  
輸血した製剤の血液型、提供者の血液型を確認

抗A1レクチンと陰性

被検者は血液疾患ではない

抗A1レクチンと弱陽性

・A抗原減弱の可能性  
疾患によるABH抗原減弱の可能性が高い

・血液型キメラの可能性  
抗A試薬との反応で一塊の凝集と背景の濁りが特徴

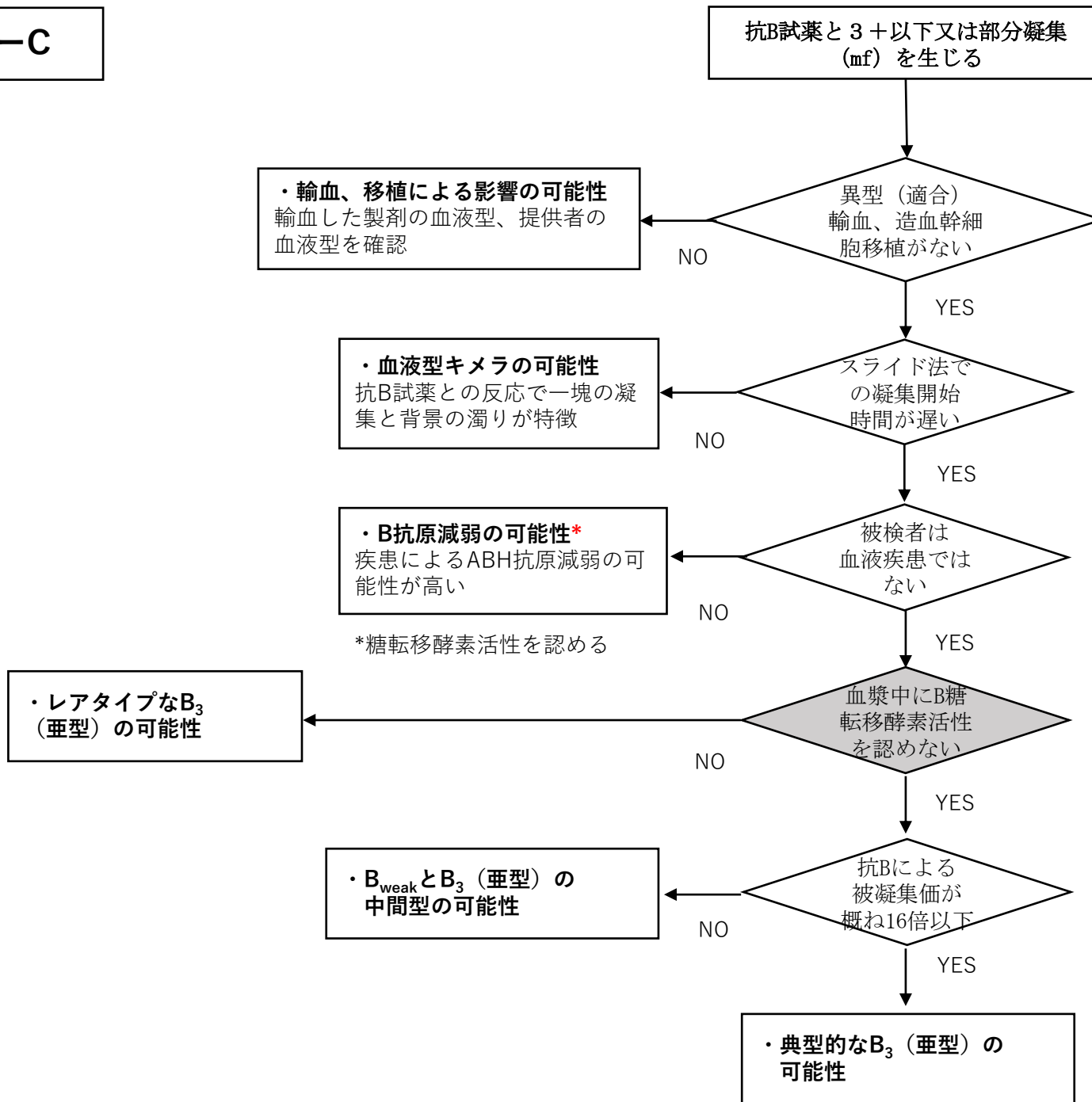
血漿中にA糖転移酵素活性を認めない

抗Aによる被凝集価が概ね4倍以下

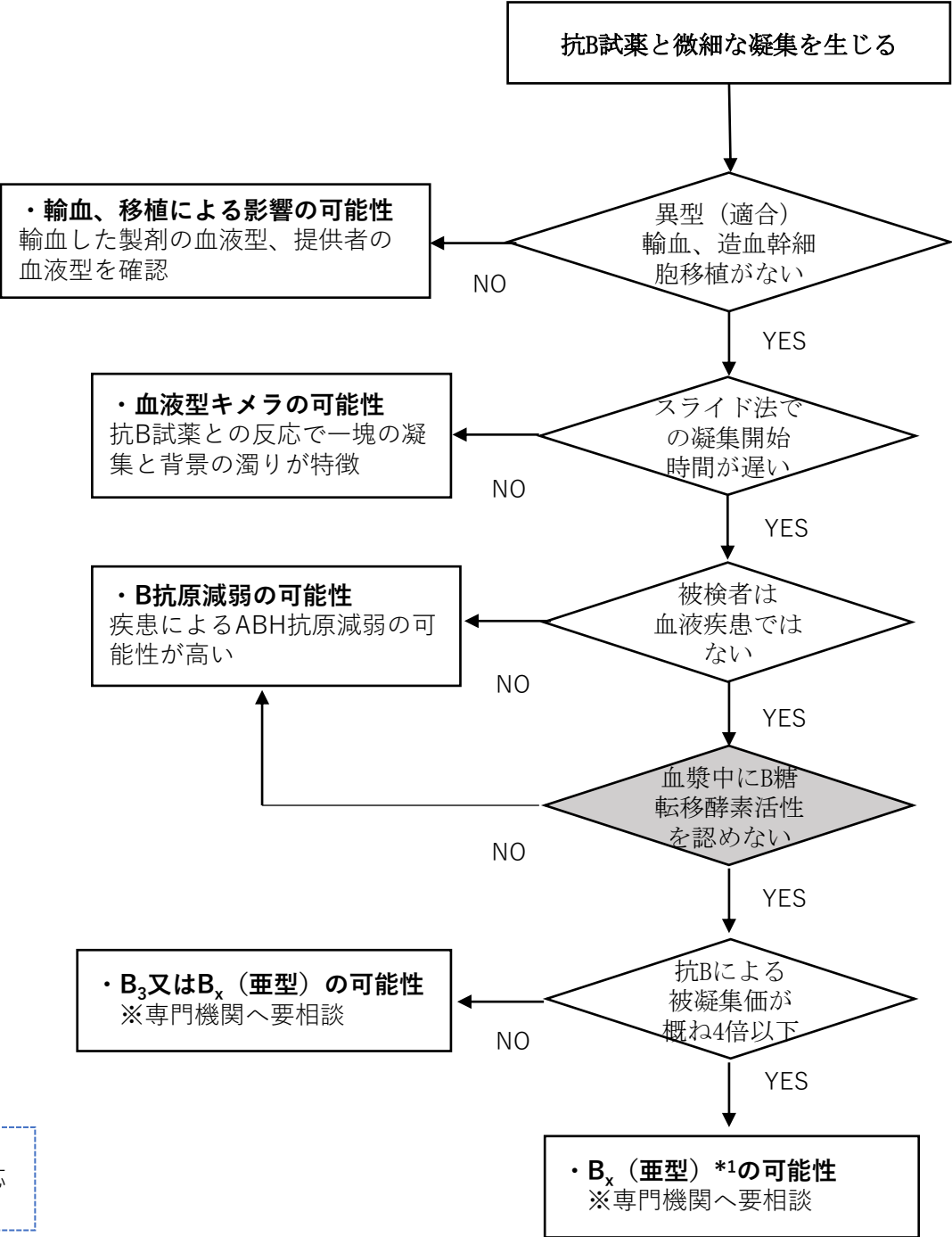
・A<sub>3</sub>又はA<sub>x</sub> (亜型) の可能性  
※専門機関へ要相談

・A<sub>x</sub> (亜型) \*1の可能性  
※専門機関へ要相談

# 検査フローC

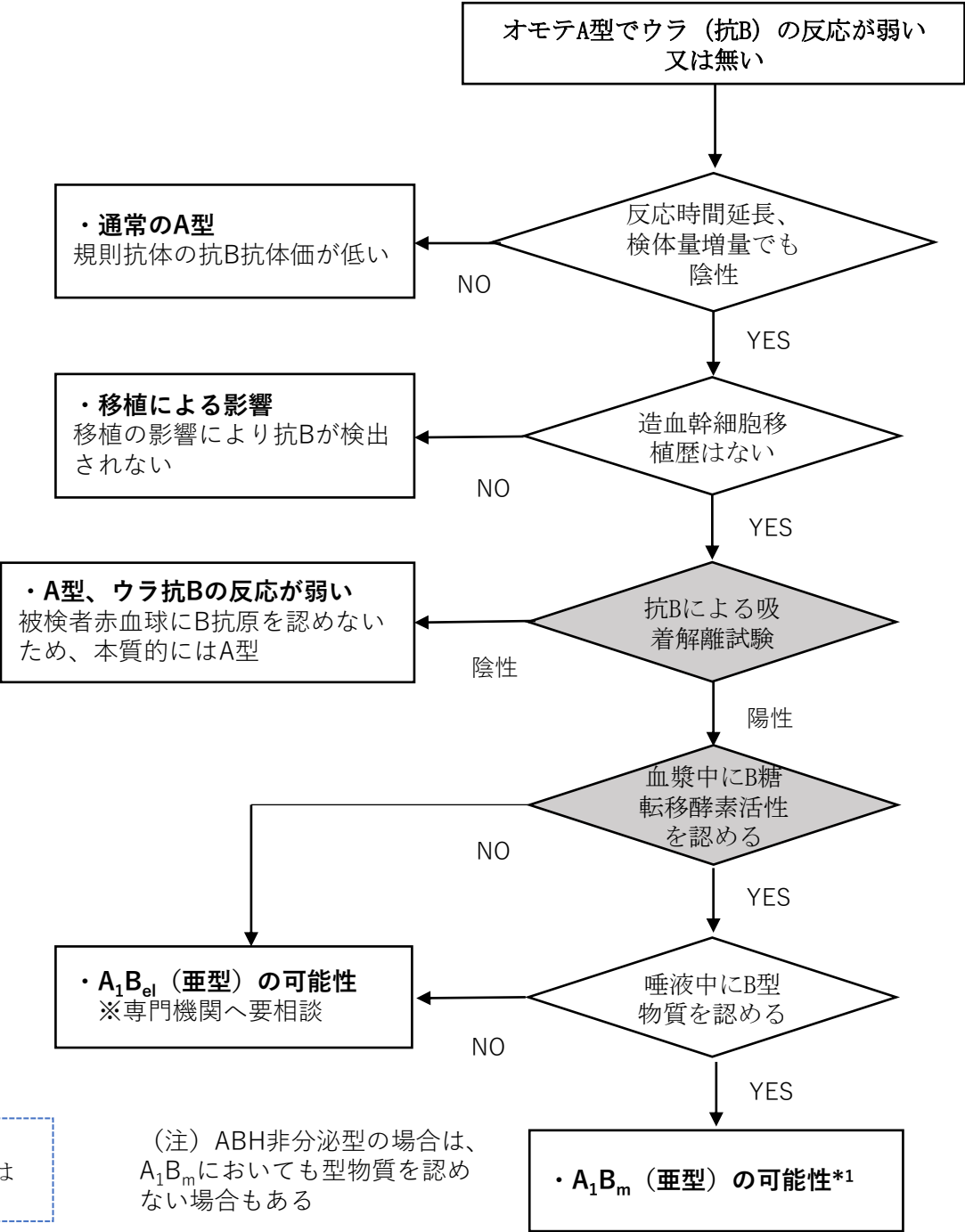


# 検査フローD



(補足)  
\*1  
O型血清（抗A,B）との反応  
が抗B試薬よりも強い

# 検査フロー-E

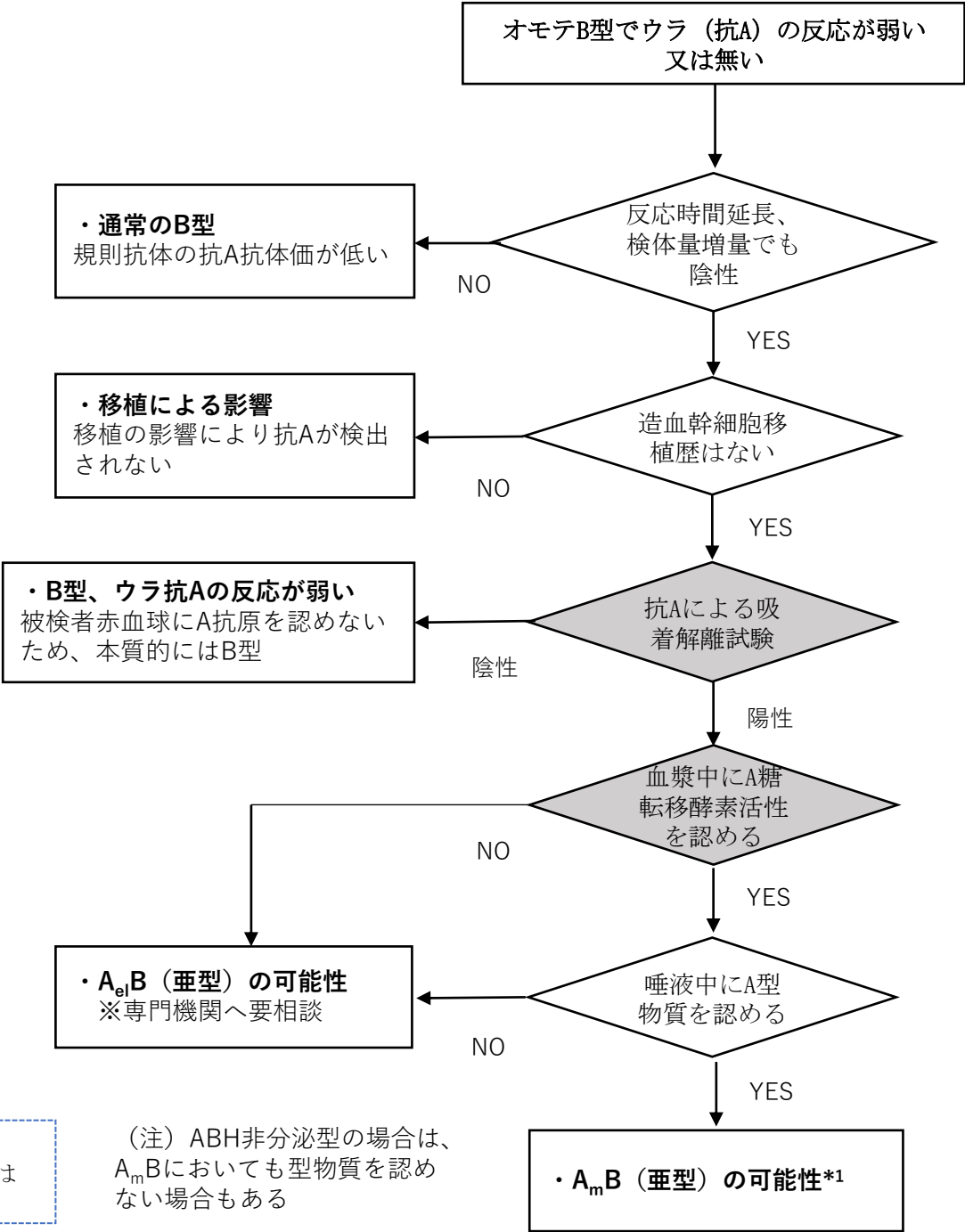


(補足)

\*1  
B (AB) の混在割合が1%以下のA/B又は  
A/ABキメラの可能性は否定できない

(注) ABH非分泌型の場合は、  
A<sub>1</sub>B<sub>m</sub>においても型物質を認め  
ない場合もある

# 検査フローF

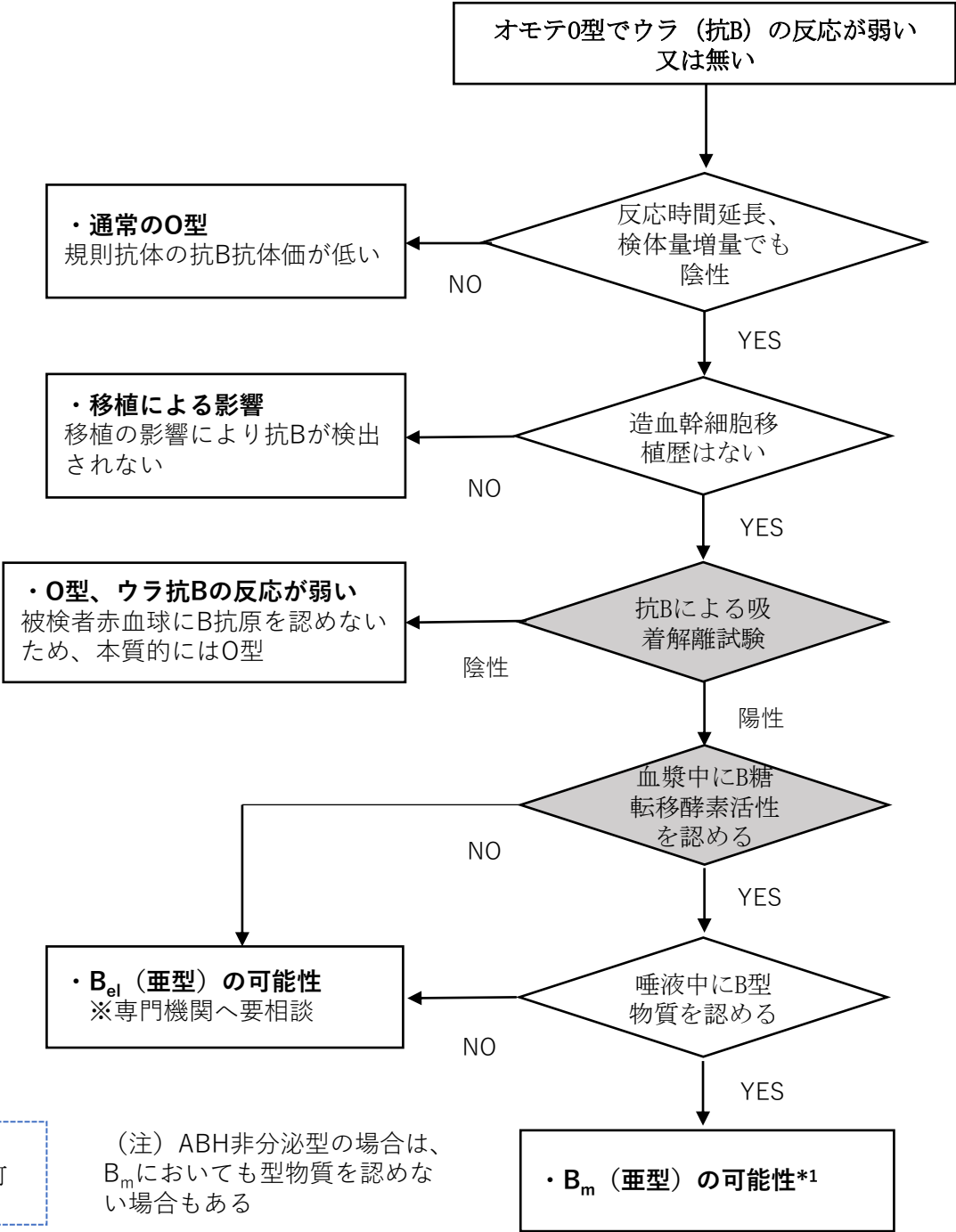


(補足)

\*1  
A (AB) の混在割合が1%以下のB/A又は  
B/ABキメラの可能性は否定できない

(注) ABH非分泌型の場合は、  
AmBにおいても型物質を認め  
ない場合もある

# 検査フローG



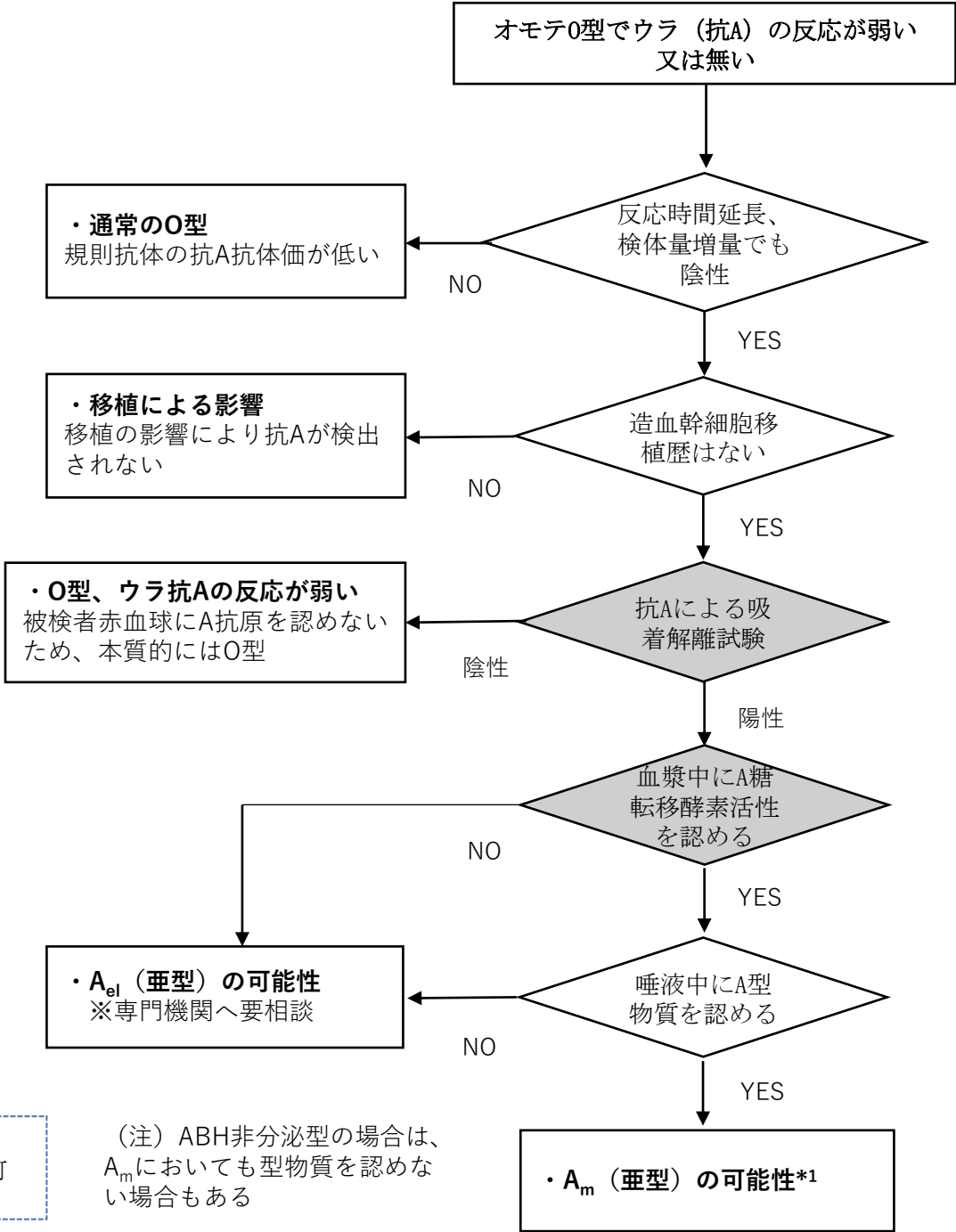
(補足)

\*1  
Bの混在割合が1%以下の0/Bキメラの可能性は否定できない

(注) ABH非分泌型の場合は、  
B<sub>m</sub>においても型物質を認めない場合もある



# 検査フローH



(補足)

\*1  
Aの混在割合が1%以下のO/Aキメラの可  
能性は否定できない

(注) ABH非分泌型の場合は、  
A<sub>m</sub>においても型物質を認めない  
場合もある